

山間秘話

中原中也

青空文庫

I
牝狐と牡兔

春であつた。牡兔の血の環りはよくなつてゐた。勇ましくはな
いまでも、しやしきしやしきしてゐた。一日兔は森に這入つて行つた、
牝狐を訪ねる算段で。彼が森の径を巡つてゐる時、牝狐は家で囲
炉裡にあたつてゐた。仔狐達は窓の近くで遊んでゐた。牡兔が森
の方からやつてくるのを見付けると牝狐は、急いで子供達に云つ
た、「何時もの彼あれが来たらば、私は家あにいないとお云ひ。あれは
私を誘おびき出す悪魔なんだからね！ あのお馬鹿に来て欲しかつた
のはもうずっと前のことだよ。今ではどうにかして殺してやりた

いくらゐなんだから。」さう云つて彼女は家の奥に匿れた。牡兎はやつて来て扉を叩く。「どなたです？　と仔狐達は云ふ。——私ですよ、と訪問客が答へる、おはやう！　おつ母さんはお家かね？——いいえ、ゐません！——困つたな！　私は用事があつて来たのに……ゐないなんて！」そこで牡兎が再び森の方に跳び返つた。

牝狐は一伍一什を聞いてゐた。「ああ！　犬つころの悪魔の杓子野郎が、と彼女はわめいた。もう一寸待つがいい、この凶々しい奴、おまへの恥知らずに意趣返しせずになんぞゐられるものか！」彼女は囲炉裡の所から扉の陰に行つて、そこで見張りをしはじめた、兎はもう一ぺん引返すだらうと思ひながら。事実兎は遅

からず引返して来た。「おはやう、坊達、おつ母さんはお家かね？　すると仔狐達は——いいえ、ありません！——困つたものだ、と兎は答へる、何時ものやうに、私はおつ母さんに御馳走しようと思つて来たんだが！」その時牝狐は顔を出した、「今日は、親愛な方！」牡兎は跳んで逃げた、泥をはねかしながら息の切れる程走つて去つた。牝狐は跡を追つた。「悪魔の杓子野郎つたら、逃がしはしないから！」彼女は今にも追ツ付きさうだ。牡兎はポーンと跳んで、すれずれに立つてゐる二本の白樺の間を摺り抜けた。牝狐は今にも彼を捕へさうだつたのだが、白樺の間に挟まつてしまつて、進むことも退くことも叶はなくなつた。彼女はただただジタバタしてゐた。杓子野郎は振返つてみるとこの有様なので、

——ここぞとばかり彼は思つて、直ちに跳んで返した。それから……牝狐を慰めてやつた。「かういふのが我輩の嗜好だ、かういふ流儀こそ我輩のものだ」なぞと彼は繰返してゐた。だが、彼女は彼女と十分の歡を取るや、急いで帰途につくのだった。

間もなく彼は炭焼場の傍を通りかゝつた。其処で一人の百姓が火を燃してゐた。牡兎はその黒い埃の中をころがり廻つた、すると彼は修道僧の風体になつてしまつた。それから彼は耳を垂れて、黙々と道が続けた。その間に牝狐の方では胸が清々してきて、もう一度牡兎を探す氣になつてゐた。ところで牡兎を見付けるや彼女は彼を修道僧だと思ひ込んだ。「おはやうございます、神父様、と彼女は云つた。あなたはあの杓子の牡兎にお遇ひなりはしませ

んでしたか？」とお仰ると……先刻あなたにお会ひした兎のこ
とですか？」牝狐は赤面して、大急ぎで巢の方へ走つた。「悪魔
奴が！ と彼女は云つた、奴はもうあのことを修道院の中に云ひ
ふらしてゐる！」なんて狡い牝狐だらう！ 牡兎は彼女に勝つた
わけだ。

II 牡雀と牝馬

百姓の家の中庭に、雀の一族郎党が集つた。中の一人が皆の者
に向つて自慢をしはじめた。「あの灰色の牝馬は、俺に気がある
んだよ。あいつは何時も俺にながしめ流ながしめ晒ながしめばかり遣つてる。ところで今

日此の席で俺があいつに接唇してみせようが、皆の意見はどうだね。」「よからう！」と一同は答へた。例の牡雀は早速灰色の馬の方に飛んで行つた。「おはやう、親愛な牝馬さん。」「おはやう、唄うたひさん、私に何か用事でもあつて？」「ほかでもないが、おまへさんに会ひたかつたもんでね……」「いいとも」と牝馬は答へる。「尤も私達の所では、男の人が娘に取入らうとする時には、先づ最初に贈物をするのが普通だね、くるみか香料入りのパンか何か買つて来るのが。ところであなたは私に何を呉れる気なの？」「何でも欲しいものを言ひさへすれば買つてやるよ。」「さう！ ぢや燕麦を十リツトルばかり持つて来て頂戴。そしてらあなたの言ふことをきくよ。」

牡雀は調達にかかった。大した骨折をした揚句、ともあれ十リツトルの燕麦を運んだ。それから彼は牝馬の所に駆付けた。「さあ、燕麦の用意はいいよ。」これだけのことを云ふのに、雀はもうイライラしてゐた。

青空文庫情報

底本：「新編中原中也全集 第四巻 評論・小説」角川書店

2003（平成15）年11月25日初版発行

※底本のテキストは、著者自筆稿によります。

※（ ）内の編者によるルビは省略しました。

※底本巻末の編者による語注は省略しました。

入力：村松洋一

校正：noriko saito

2015年2月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.azora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

山間秘話

中原中也

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>